

主なご意見等と区の考え方、対応（令和６年度 第２回生野区区政会議 くらしの安全・安心部会）

意見交換のテーマ（区として特にご意見やアドバイスをいただきたいこと）	
令和７年度生野区の取組（案）について 「生野区グローバルタウン物語」プロジェクトについて	
ご意見・アドバイス等	委員名
外国ルーツのこどもに対するサポートについて、いくのパークだけではなく、生野区全域で、私たちが知識を得られるような場所を作っていたらありがたい。	井筒委員
外国人住民が多い生野区として、災害が起こったとき、避難所に翻訳付きスピーカーがあるといいと思う。言葉がわからなければ、外国人の方に避難のしかたや規律を守ってもらうための説明をすることが難しい。	玉井委員
旅行代理店と提携して観光バスによってインパウンドを誘致する際、まずは大阪コリアタウンの入口付近に、大型観光バスを駐車するスペースや公衆トイレなどの社会資源を整備する必要があると思う。	田村委員
生野区災害時協力事業所登録団体を増やしていただき、地域の関わりの人たちと関わって、災害時の対策などを検討できればいいかなと思う。 また、ペダル付き原付バイク、いわゆるモベットの取り締まりの強化など、警察と連携して、自転車マナーの啓発運動を大いにしていいただきたい。電動アシスト自転車はスピードも出るし、大変重量もあるため、衝突すると死に至るような事件も出ている。より一層の啓発活動をお願いしたい。	北口（充）委員
外国人との共生について、お互いを理解し合うために、コミュニティFMを立ち上げて、その国の音楽やメッセージなどを流してはどうか。 生野区がグローバルタウンとして発展するツールとしていいと思う。 また、近鉄鶴橋駅の東改札口高架下の有効活用についてもぜひ進めていってほしい。	森口委員
今月１４日、北九州の小倉のほうで女子中学生がナイフで刺されて亡くなるという大変痛ましい事件があった。このような事件を未然に防ぐというのは大変難しいことだが、防ぐ努力をしていかなければならないと思う。毎朝、こどもたちが登校するときに見守り隊という形で、見守り活動をやっているが、下校のときには、今のところ行われてない。こどもが家に帰ってから公園で遊ぶというようなときにも、見守りの目というのはほとんどないんじゃないかと思う。子どもたちの下校時間に合わせて、何か用事を作る、外に出る、たとえば植木に水をやったり、家の周りを掃除したりするとか、犬の散歩をされてる方、健康のためにウォーキングをされてる方にはぜひ公園をルートにさせていただくなど。そうすれば、子どもたちを見守る目も増えると思う。そういうことを区のほうでも、たとえば広報いくので特集を組んで、広く周知すればいいのではないか。	籾本委員

主なご意見等と区の考え方、対応（令和6年度 第2回生野区区政会議 くらしの安全・安心部会）

ご意見・アドバイス等	委員名
多文化共生の推進について、地域で様々な活動を推進していくにあたっては、やはりパートナーである行政の、区職員の皆さんの実感を伴った、あるいは実感に裏付けられた理解というものが非常に重要ではないかなというふうに思う。関連部署を中心に、ぜひ庁内から現場に出て交流したり、訪問したりするような形での研修であったりとか、活動というのをぜひ取り組んでいただきたい。 また、『生野区グローバルタウン物語』プロジェクトで3つの柱、教育と産業振興と観光となるが、例えば、今、教育のところを見ると、日本語で話せない児童、家庭が急増というふうな課題が書いてあるが、家庭の支援というところも、非常に重要ではないかと思う。例えば、先般、大阪わかば高校の高校生とも交流した際に話を聞いて、これは追々大変な課題が出てくるなど思ったのは、こどものほうが日本語の習熟度合いというのは、スピードも速いし、その度合いも深い。仮に親が日本語の習熟度の進みが悪い場合、こどもが親になり代わって、行政手続きをサポートしたり、あるいは病院での通院の同行を伴ったりなど、結局ヤングケアラーあるいはヤングアダルトケアラーみたいになって、こどもにも課題が行ってしまうということ。結局、こどものケアをする前に、家庭のところできちんとサポートや支援を充実しておかないと、いちごっこは終わらないというところではないかなと思う。教育、産業振興、観光が3つの柱であるというのは定められているのかも知れないが、そこに資源が集中してしまいがちになるので、ぜひ全体図を捉えた上での取組をお願いしたい。 最後に、非正規移民の説明があったが、やはり非正規化してしまう背景であるとか、非正規化していくプロセス、あるいは、その過程で潜在化してしまうというところを、やはり理解・把握をして、できるだけ早くに非正規化しないように、あるいは非正規化が始まったタイミングすぐにサポートができるような仕組みというのを作らなければ、あまり強行策に出るとより潜在化してしまうというリスクも起こるため、そうしたコーナーを織り交ぜた対応というのも検討いただきたい。生野初で、日本全体のモデルとなるような取組をしていく必要があると思う。	川中委員

その他の主なご意見・ご質問等	委員名	区の考え方、対応	担当課
防犯カメラ 小学校の通学路もあり、最近は通行量が増えている大阪コリアタウンの入り口あたりに防犯カメラを設置してもらっているが、耐用年数が過ぎて取り替えないといけない。設置時に比べ、防犯カメラの費用も安くなっているの、予算を増やしてもらって、どんどんつけていただきたい。また、毎年のメンテナンスにかかる費用も補助してほしい。	長谷川委員	防犯カメラは犯罪の抑止につながると認識しており、この数年、新規設置はしていなかったのですが、今年度から警察の助言を受けて設置していくこととしています。令和7年度の予算額は160万ほど増えていますが、これは防犯カメラを設置するための金額となっております。警察とも連携しながら必要など所に設置してまいりたいと考えております。 メンテナンス費用につきましては、お約束はできませんが、いただいたご意見も踏まえて検討させていただきたいと思います。	地域まちづくり課

主なご意見等と区の考え方、対応（令和6年度 第2回生野区区政会議 くらしの安全・安心部会）

その他の主なご意見・ご質問等	委員名	区の考え方、対応	担当課
自転車のマナー	商店街やシティバス車内の放送で、自転車のマナー等について啓発されているということであるが、自転車運転マナーも危険ではあるが、実際、商店街では駐輪に困っている店舗の方が多い。マナー啓発はとても大事だと思うが、もっと実効性のある何か良い施策というのはないのかというのを教えていただきたい。	特に桃谷駅前の商店街のお話だと思いますが、現在、区役所におきまして、業務委託という形で桃谷駅前に人を配置し、「ここに自転車を停めないでください、駐輪場に行ってください」という声かけをしていただいております。実効性のある施策となりますと、置かれたら撤去するというのが一番いいと思いますが、いろいろな駅があるなかで、毎日同じところばかりに行くことはできないということもあり、今、桃谷駅であれば月3、4回ぐらいは撤去している状況かと思えます。商店街の奥のほうまではなかなか撤去できないという実態もありますが、どういうふうにしていくのが一番効果があるのか、道路管理者の大阪市建設局とも相談していきたいと思えます。	地域まちづくり課
防災	防災訓練について、東小路地域は全くしていない。 個人的に、災害時に何かあった場合、若い人たちの協力は必要だと思うので、近くの金光藤蔭高校と行事やボランティアを通じてつながっていて、「災害時も何かあったら助けてね」と言えるような形を作りたいと先生とお話をしているが、地域に全くその意識がなく、備蓄も全然把握できていない。とにかくどんなのでいいので防災訓練をしてほしい。ここまでの訓練はしなければいけない、こういうチェックはちゃんとしなければいけないということを、連長会などでもっと強く言っていただきたい。	防災訓練は実際の災害を想定して具体的に身体を動かすことを通じて、災害発生時にどのような動きをすべきなのか経験することができ、災害時の対応能力向上に大いに寄与するものであると考えております。 生野区では生野区災害想定訓練を実施しすべての地域に参加いただくとともに、日頃より各地域で実施する防災訓練等の支援・協力に取り組んでおります。引き続き、各地域における各種の防災活動の支援・協力に取り組んでまいります。	地域まちづくり課